今後の市施策について

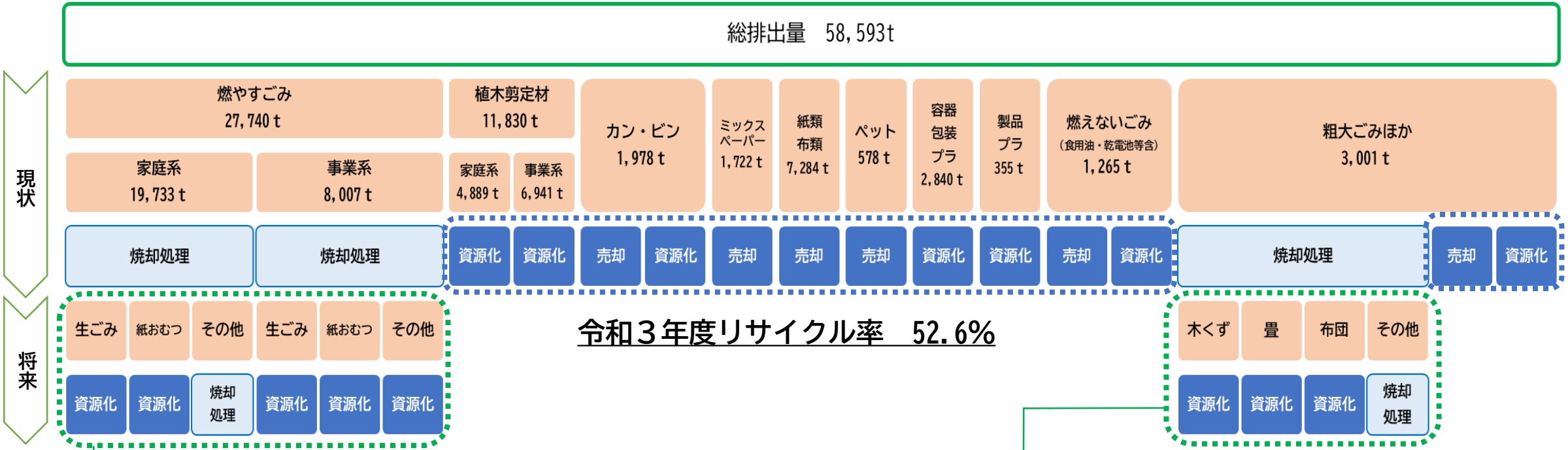
資料 7

＜基本理念＞

「ゼロ・ウェイストかまくら」の実現を目指して

➢３Ｒを推進し、焼却量や埋め立てによる最終処分量を限りなくゼロに近づける

（R3実績から算出）



令和３年度リサイクル率　52.6%

①家庭系生ごみ資源化
- ➢家庭系燃やすごみのうち約50%
- ➢施設整備

②紙おむつ資源化
- ➢家庭系・事業系燃やすごみのうち約10%
- ➢施設整備or民間処理委託or排出事業者内で設備機器による処理

③事業系燃やすごみの資源化
- ➢生ごみ：事業系燃やすごみのうち約45%
- ➢登録再生事業者への誘導、混合ごみのまま民間処理委託(乾式メタン発酵)

④粗大ごみ（木くず・畳・布団等）資源化
⑤収集の効率化

令和11年度焼却量　約10,000ｔ

⇓

総排出量 約80%の資源化をめざす